

令和7年5月26日

ウォーカブルなまちづくりの活動 提案書

活動名	路上駐車帯活用による沿道施設と連携した道路空間創出実験
提案者名	watage実行委員会 右田 萌
提案者の所在地	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目8-14
【下記事項について記載してください。】 ○開催時期：2025年10月～2026年1月の間（回数未定） ○活動場所：watage前の路上駐車帯 ○目 的：路上駐車帯活用による沿道施設と連携した道路空間創出 ○活動内容： 路上駐車帯のパーキングメーターを止め、路上駐車帯内のスペースを活用。watage内の備品を外に出し、沿道施設と連携した道路空間づくりの実験を行う。watageにてこれまで取り上げて来た、ウォーカブルまちづくり、生物多様性、環境まちづくり、ナイトタイムエコノミー、気候変動対策などのテーマを関連させて、小さな活動から社会課題解決の糸口を探る。また、watageにおけるユース連携プログラムと連動させてコーヒーを提供する。	
【開催までのスケジュールを記載してください。（企画の検討や周囲との合意形成等の準備期間を踏まえて）】 7月：キックオフ・企画内容の調整、道路管理者等への頭出し 8月：空間イメージの検討、運営体制の検討 9月：周辺町会や商店会・地権者等への情報共有 10月～1月：活動実施 ※回数は未定です。他プロジェクトの状況を踏まえて時期・回数を調整します。 2月：活動結果のとりまとめ、千代田区への報告	
【今回の活動を行いたいと思った理由を記載してください。（地域の課題やそれに対する解決策、まちに対する思い等を踏まえて）】 watageの前の路上駐車帯には、毎日車が止まっており歩行者動線を阻害している状況を見受けま。また、ウォーカブルまちづくりの1つの要素である「Eyelevel：まちに開かれた1階空間」が路上駐車帯により視認性を阻害されていることも、沿道施設としては残念に感じています。これらの課題を解決するべく路上駐車帯を活用し、歩行者動線の在り方と沿道施設と連携したシームレスな空間づくりの方策を検証するプロジェクトを実施したいと思います。	

【今回提案する活動の実施体制や役割分担、収支予定について記載してください。】

○実施体制・各主体や団体内の役割分担

主催：watage実行委員会

企画：SharedVision（watage企画・運営） ※必要な許認可・合意形成・報告含む

運営：watageメンバー ※活動終了後の原状復帰含む

協力：日鉄興和不動産株式会社

○収支予定

収入：千代田区からの支援30万、協力会社による協賛金等80万程度

支出：下記の通り

- ・ハード事業に掛かる経費：施工費、材料費、什器等の購入費
- ・ソフト事業に掛かる経費：印刷製本費、広告費、備品費、消耗品費、謝礼金、雑役務費
- ・協力会社からの協賛金等の使い道：実施主体にかかる人件費、会議費、交通費

【今回の活動後、継続的な活動を検討されている場合はそちらも記載してください。】

路上駐車帯のパーキングメーター停止、道路使用許可が、千代田区や周辺関係者から理解を得られれば、watageとして継続して空間づくりをすることは可能かと思います。

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

watageは「まちを育む学びと実践の場」をコンセプトに昨年7月より設置したコミュニティスペースです。町会や商店会をはじめ地域のプレイヤーとの関係構築、都市・まちづくり界隈でトレンドとなる課題・取組を捉えたトークイベントや当地域に少ない若者/ユース（10代～20代）を対象としたプログラムの実施などを行っています。

今回のウォークアブルなまちづくりの活動においても、このネットワークを活かして取り組みたいと考えております。参考資料を添付しますのでご覧ください。

本活動に採択された場合、実施するにあたって下記に同意していただく必要がございます。同意いただける場合は、各項目の口にチェックを付けてください。（同意いただけない場合は、採択いたしかねますのでご了承ください。）

☒ 募集要項に記載の「3 応募資格」および「4 活動の要件」を満たしていること

☒ 採択後に本活動の趣旨に明らかに適していないと区が判断した場合は、活動の支援を取りやめる可能性があること

☒ 今後のさらなるウォークアブルなまちづくりの推進に向けて、提案書や活動報告書等については千代田区のホームページ等にて公開するため、了承の上作成すること

☒ 今回の活動を機に、その後の活動の支援を確約できるものではないこと

※上記に加え、企画書や説明動画などの補足資料を添付していただいても構いません。